

- Always your best partner -

いつもあなたのベストパートナー「ドラえもん」のような会社を目指します。

生活に必須な「ライフライン」のお仕事をなさっている株式会社アイコンホールディングス様。ガス・セキュリティ事業（ガス）、通信・ネットワーク事業（電話）、電気・省エネルギー事業（電気）、生活・安全事業（防犯カメラ）、防水・リフォーム事業など、お客様の暮らしをより安全・安心・快適にできるよう、多岐に渡り事業展開なさっています。
経営理念は「お客様に喜んでいただける仕事を創意工夫しよう」

2030 年ドラえもん構想

■外国人材採用を考えだしたきっかけは？

難森剛会長：10 年前に、企業としても喜んでもらえる会社を目指そうと“お客様にどんなことを頼んでもらっても対応できる”「ドラえもん構想」を考えた。これからは少子高齢化の時代、世の為人の為の企業として、一番必要な【人材】がこれから欠乏するだろうと5年前に気づき、外国人雇用を始めた。シャパンドリームを目指して来日したのだから、日本でやり方や考え方をマスターしてもらえたらと思う。今日本が抱えている問題は、母国でもある問題なのでは？日本だけではなく、海外も含めてできればと思っているが、今は夢物語なので、一つ一つ実践をしている。

■電気工事関係の企業さんなのでそこが中心かと思ったのですが、もっと広がりそうですね。

ドラえもんですから！

ほんとになんでもあるよ！まだないのは、飲食業。今日すぐラーメン屋はできないけど、将来やりたいという夢があるなら、お客さんのいる所に出店したら、繁盛する。ただラーメン屋はたくさんあるから、そこに残っていけるかは厳しい。まずいなら、知り合い等が「ここがまずい」と指摘してくれば改善できる。潰れていくところはその改善がないからである。どんな商売をやっても同じ。仲間がどれだけいるか。それを世界でできたらと思う。

社員でやりたい人間がいるなら、お客さんさえいれば事業は成功する。市場があるのだから、人とネタをどうクリアするか。その人にあった商売ができれば・・・だからドラえもんである。

■今年はどんなことをやっていきたい？

2021 年 1 月 5 日の年始にあげたテーマがまさに「人材」。採用と育成を。

人材というテーマの基に「2030 年ドラえもん構想」という大号令をかけた。今年は 10 年計画の 2 年目である。当社の 20 年の歴史でここまでやってきた自負、できた事に対する満足の 1 年目があり、21 年目でコロナ禍緊急事態宣言となりひと月何千万の赤字になった。会長という立場から「今本当に何をしたいといけないうか」という話を全社員に話をしたところ、「これじゃあかん」と社員も意識をもってくれ、本気を出してくれた。その後緊急事態宣言も解除となりその結果、今までより昨年は利益がでた。この 10 年はすごいことになる、みんながやる気をだしてくれている！

元々、5 人の社長を作る目標があった。電気ガス等ライフラインの専門会社を 4 つ作り、5 つ目が総合のサービス事業。自らがお客さんをもってサービスしていく。困ったときというのが大事。ここで喜んでもらって、次の仕事をやろう、10 年後は勝手に頼ってくれる。住宅関連全部できる、そういう機会をいただければ、なんでもある。なかったら勉強します！



新グループ会社の社長になる横山さん（左）と難森剛会長（右）

外国人を採用したときのこと。印象は？

すごくいい。外国からくる人は夢をもっている、夢あれば結果がでてくる。なる気のある人はなれる会社。チャンスを得たい人は得られる、させてあげたい。人の満足度は人によって違うと思うが、せっかく人間に生まれたのだから、最大の可能性が出せるようになってみたらと。事業は簡単ではないが、必要なものを必要な分だけ作るとうまくいく。



仕事はたくさんあるが、メンバーが不足していて自社だけで対応できない時は、ドラえもんのポケットの中のパートナーさんと一緒にできればと思う。そのためにも、パートナーさんとの出会いや、人材の採用と育成が大切である。

「思いっきり働いて思いっきり遊ぶ」

当社の創業理念である。海外旅行がすきでアジアもよくいくが、現地で必ず友達を作って帰国する。次はその人が案内してくれるので安くいける。これはどこでもできる。もし彼らが日本に来たら、僕が接待する。人との輪を大切に。遊びの中で仕事、仕事の中で遊びができれば。遊ぶことが目的の創業理念。遊ぶことはみんな好き。仕事はしんどいが、最後はみんなで思いっきり遊ぶ。社員旅行も現地の友達のガイド付きである。

コロナ禍で、固定費をさげ、ディフェンスモードになる会社が多いのに、躍進をイメージされているのはなかなかできることではない。今年は 20 名採用をご検討とか、いいご縁があれば嬉しいです！